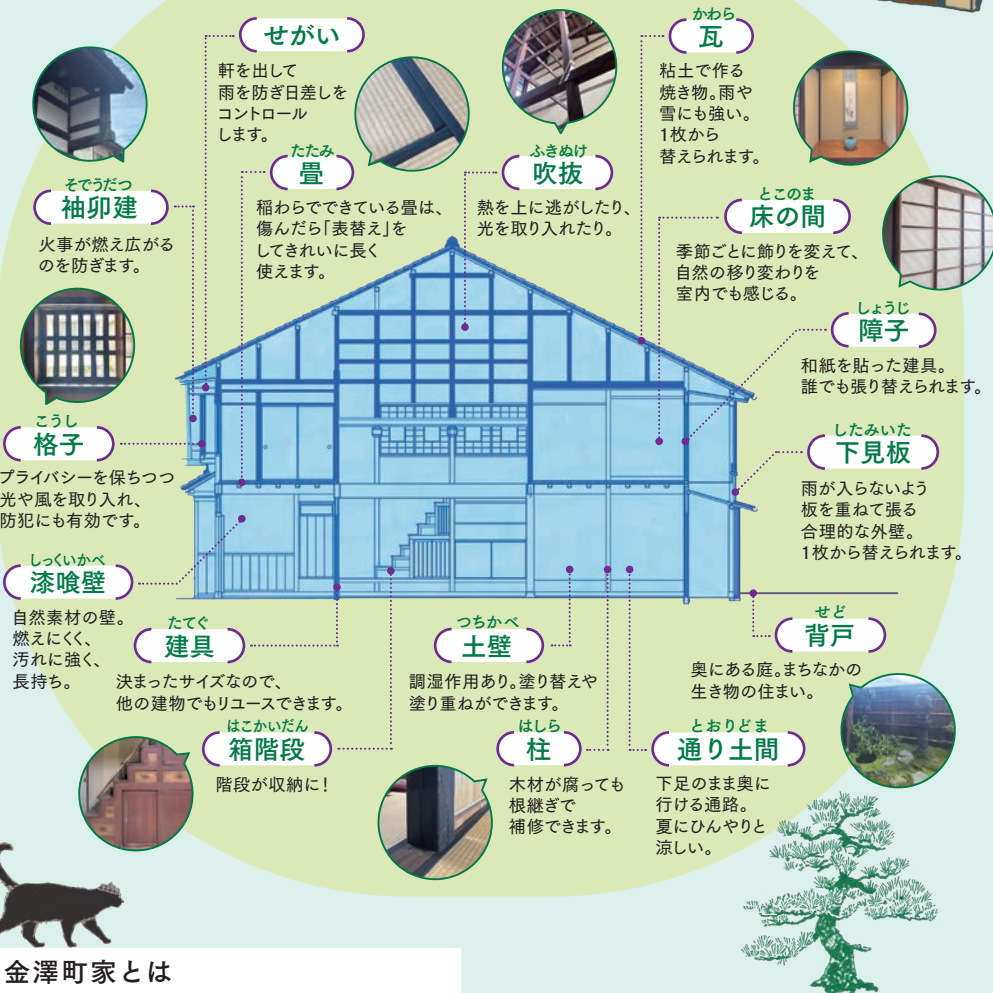


自然素材を元につくられた金澤町家は、直して使い続けることを前提として建てられています。だからこそ、建て替えるスパンが30年前後の現代の建物と違い、ちゃんと手入れをしていけば、100年たっても使い続けることができます。



金澤町家とは

- S = 商人や職人の住宅または店舗併用住宅【町家】
- D = 大名や家臣の武家屋敷およびその流れを継承した近代の住宅【武士系住宅】
- G = 外観や構造、室内空間に近代の建築様式や意匠、技術を取り入れた和風の住宅【近代和風住宅】
- S = 戦災を免れた金沢には約5800棟の金澤町家が残るが、年間約100棟が壊される

"Kanazawa Machiya" is used as an inclusive term in order to call the traditional timber-framed buildings built before 1950 in Kanazawa City, which includes samurai houses, townhouses, and modernized Japanese houses. Although their types are diverse every building has attractive traditional craftworks adapted to the local climate and culture. Around 5,800 buildings have still remained in Kanazawa City and more than 100 ones are destroyed every year.



柿木島～里見町・茨木町周辺 MAP



「里見町の町家と緑」ツアー

10/5(日) 10:30-12:30 頃

ガイド:橋本浩司(橋本建築造園設計) 定員:10名 要予約
参加費:1000円(町家ブレンド紅茶のお土産付)

タメチストリートに潜む樹齢500年の「多田家の五葉松」→町家をお庭に残して改装して洋服や器の店としてオープンさせた「taine」→畑や庭を備えた改修町家「K邸」→江戸末期の建物を改修した「金澤町家情報館」と巡ります。

橋本浩司(はしもとこうじ)

1970年生まれ。一級建築士。歴史的建造物修復士。京都工芸繊維大学工学部卒業。フィンランドのヘルシンキ工科大学留学、イタリアでの改修設計活動を経て、2008年橋本建築造園設計設立。現在、金沢大や金沢職人大学校でも教える。



「見える川・見えない川」ツアー

10/5(日) 13:30-15:30 頃

ガイド:高橋元貴+下坂裕美 定員:10名 要予約
参加費:1000円(町家ブレンド紅茶のお土産付)

勘太郎川と鞍月用水。そして失われた犀川の川筋。見える／見えない流れをたどりながら、豎町・幸町・菊川周辺エリアの町並みや建物群を、その基層から読み解き、歩きます。

高橋元貴(たかはしげんき)

1986年生まれ。金沢工業大学建築学部建築デザイン学科准教授。専門は都市史。都市および建築の歴史を、フィールドワークや絵地図史料、古文書の読解を通して研究。

下坂裕美(しもさかゆみ)

一級建築士。建築デザイン事務所川川代表。大学院で都市史を学び、沼地や島嶼について研究。清水建設設計部に勤めたのち、金沢に拠点を移し、町家改修などに携わる。



「関守石作り」ワークショップ

10/5(日) 10:15-12:00 頃

講師:中田祐貴(兼六造園) 定員:10名 要予約 参加費:1000円

石に棕櫚の縄を縛って、結果となる関守石を作ります。結果はもちろん、オブジェにしても。※石の持参も可能ですが大きさによっては使えない可能性もございます。

中田祐貴(なかつたゆうき)

1980年金沢市生まれ。庭師・樹木医。(有)兼六造園代表取締役。金沢工業大学建築学科・金沢職人大学校(造園、修復専攻)卒業。ランドスケープ設計を経て家業を継ぎ、作庭や維持管理・樹木治療にも携わる。



お申し込み先

申し込み開始日時

9/22(月) 10:00 ~

専用予約フォームからお願いします。先着順。返信をもって受付完了。
(※ウェブ予約が困難な場合はお電話ください)

金澤町家研究会事務局

ご予約フォームはこちら→

☎ 076-254-0647 平日9:30-17:30/土日祝休 <https://kanazawa-machiya.net/mj/now/>



江戸村イベント「火起こしから、かまどで栗ごはん」

10/5(日) 10:30-12:30 金沢湯涌江戸村・旧松道家

9/20(土) 10:00 受付開始

定員:15名(対象5才以上) 参加費:800円+入園料金

申込電話番号:076-235-1267

国の重要文化財でもある旧松道家で、火起こしから始め、かまどで栗ご飯を炊いて食べます。

